

大型放射光施設 (SPring-8) の概要



理化学研究所 播磨地区

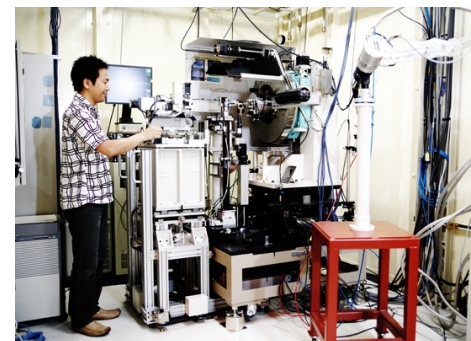


現状：SPring-8の概要



- | | |
|----------------------|---|
| (1) 建設期間 | 1991～97年（1997年10月に供用開始） |
| (2) 施設所有者 | 独立行政法人 理化学研究所（2005年9月までは日本原子力研究所と共同で所有） |
| (3) 運転及びユーザー支援 | 公益財団法人 高輝度光科学研究センター（JASRI） |
| (4) 建設費用 | 約1100億円（供用開始時） |
| (5) 運営費（2012年度） | 73億円 参考. 登録機関JASRIへの交付金（SACLA分含む）：14億円 |
| (6) 運転時間（2012年度） | 蓄積リング運転時間 5, 063時間
ユーザー利用時間 4, 156時間 |
| (7) 年間実施課題数（2012年度） | 2, 007件 |
| (8) 年間累計利用者数（2012年度） | 15, 249人 |

利用者数累計で **15.4万人以上**



Super Photon ring → Solving Problem ring

経緯：ビームラインの新設・高度化

平成19年(2007年)7月	「大型放射光施設(SPring-8)に関する中間評価報告」【第2回】 《科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会》
平成19年(2007年)9月	BL14B2 産業利用Ⅱ
平成21年(2009年)5月	BL33XU 豊田(豊田中央研究所)
平成21年(2009年)11月	BL03XU フロントティアソフトマター開発産学連合 (フロントティアソフトマター開発専用ビームライン産学連合体)
平成21年(2009年)11月	BL07LSU 東京大学物質科学アウトステーション(東京大学)
平成22年(2010年)5月	BL32XU 理研ターゲットタンパク
平成23年(2011年)	BL37XUとBL39XUでの「グリーン・ナノテク研究支援のためのナノ ビーム放射光分析基盤」を整備
平成24年(2012年)4月	BL43LXU 理研量子ナノダイナミクス
平成24年(2012年)4月	BL28XU革新型蓄電池先端科学基礎研究(京都大学)
平成25年(2013年)1月	BL36XU 先端触媒構造反応リアルタイム計測(電気通信大学)

共用ビームライン → 稼働開始年月

専用ビームライン、理研ビームライン → 利用開始・ファーストビーム年月

光源の高度化の例

蓄積ビーム垂直振動抑制

ビーム信頼性の向上

入射効率の改善

蓄積電流値の安定化

トップアップ運転の改善

周期的軌道補正の性能改善